

番号	127	災害復旧 記念碑 有明町長 定松安一書		
所在地	白石町深浦 牛間田溜池（坊ヶ谷ため池）			
災害別	昭和４７年（１９７２） 水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和４９年５月	
特記事項	令和５年現在、碑は工事のため撤去された後、行方不明			



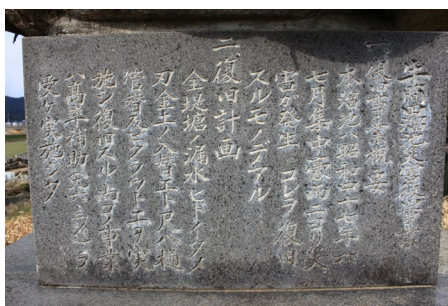
これまで災害を伝える碑が移転された例は見たが、この災害復旧記念碑のように、工事のため撤去され、その後、復元もされないまま行方不明となった例は他に知らない。しかも、その後、堰堤脇に建てられた掲示板には、「ここは『坊ヶ谷ため池』です」と表示されている。撤去された理由や名称変更の理由はわからないが、碑文にははっきりと「牛間田溜池」と記され、災害復旧の記録とともに江戸時代からの溜池の由来が記されていた。

碑の撤去とともに、災害の歴史や貴重な溜池の由来なども忘れられてしまうのではないだろうか。

碑文に記された、昭和47年7月9日から13日にかけての豪雨は、県内各地に被害をもたらし、「佐賀県災異誌」によれば昭和42年7月豪雨以来の大きな水害を引き起こしたと記されている。碑文は、災害復旧事業と溜池の由来

について切石の２段に分けて記されている。(原文はカタカナ表記)

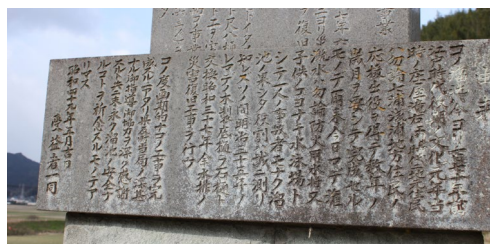
＜上段＞ 「牛間田溜池災害復旧事業 一、復旧事業概要 本溜池は昭和四十七年六七月集中豪雨により災害が発生、これを復旧するものである 二、復旧計画 全堤塘の漏水ひどいため刃金全土の入替工と尺八樋管替及びクラウト工を実施し復旧する尚この事業は高率補助(九六・三%)を受けて実施した(右面)三、事業実施概要 査定事業費 九百三



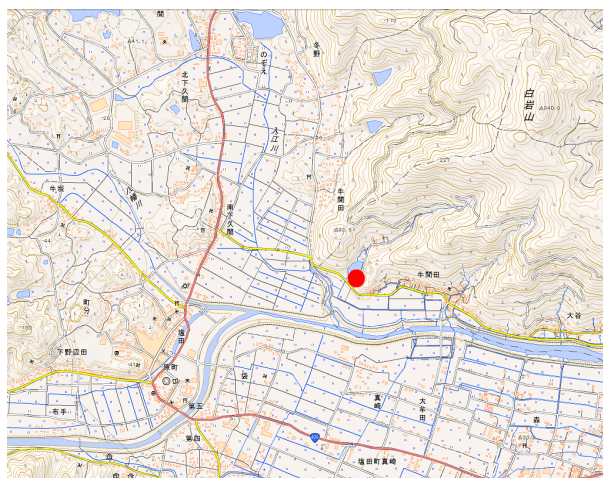
拾九万九千円 実施事業費 一千万五千元 国庫補助 九六三万円 地元負担 三七万円 事業内訳 堤体工 四五四万円 樋管工 三六五万円 クラウト工 一五三万円 事務費二八万円 (背面)四、事業着工 昭和四十八年九月一日 事業完工 昭和四十九年二月二十八日 五、事業主体 有明町(耕地係) 請負業者 江北町峰組 峰寿 六、非補助

土地改良事業 二四三万円(水路工)同時実施する 昭和四十九年五月吉日 牛間田溜池土地改良区 理事長 武藤正(以下、氏名等略)

＜下段＞ 「由来 この溜池は今より百七十年前江戸時代後期の文化元年当時の庄屋滝右エ門時代に地元住民は勿論七浦浅浦地方住民の応援出役を得て数年の歳月を要して完成せるもので爾来今日まで灌漑水は勿論防火用水^{はたまた}将又子供のこよなき水泳場として一人の事故者もなく溜池



の果たした役割は誠に測り知れずその間明治三十五年それまでの木製底樋を石樋と交換昭和三十七年全水排の災害復旧工事を行うこの度画期的なこの工事を完成するにあたり県及町当局の深甚なる御指導御協力を深く感謝すると共に末永く溜池の安全なることを祈念するものであります」昭和四十九年五月吉日 受益者一同 (背面)牛間田溜池土地改良区役員等氏名(略)



国土地理院電子国土 Web